



図工だより

図画工作科の評価について

令和7年 9月1日
江東区立臨海小学校
図工だより 6号
校長 羽藤 めぐみ
図工専科

早いもので、あと1ヶ月半程で前期が終了します。それぞれが多様な活動をする図工も、評価をします。どのような点で評価していくのか、お伝えしたいと思います。

- 知識及び技能
 - ・自分の感覚や行為を通して、色や形などの造形的な視点について理解している
 - ・学習した材料や用具などの基本的な使い方を理解し、その特徴を生かして表している など
- 思考力、判断力、表現力
 - ・造形的なよさや美しさなどについて考え、発想や構想を広げている
 - ・身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げている など
- 主体的に学習に取り組む力
 - ・集中して、活動に取り組んでいる
 - ・自分の作品がより良くなるように努力している
 - ・鑑賞会などで、友達の作品のよさを積極的に発表している など

これら3つの観点から、一つの作品に対する評価だけではなく、日々の活動の積み重ねで評価します。どれだけ積極的に挙手をして発表したとしても、集中して活動していない人には、「たいへんよい」はつきません。自分の表現に向かって夢中で活動している様子を見取って、価値付けていきたいと思います。また、仮に技能面等で「がんばろう」がついたとしても、「自分は下手なんだ…才能がないんだ…」などと落ち込む必要はありません。「よくできたな」「楽しくできたな」と思うことは継続して、「もっとこうできたかも」「次はこういうふうに試したい」と思うことは積極的にチャレンジして、後期の図工をより充実したものに思ってもらえればと思います。

材料収集ご協力のお願い

- ご家庭にある不要品を材料として使用させていただきます。以下の材料がございましたら、お子さんを通じて図工室までお持ちいただくと幸いです。ご協力よろしくお願いいたします。
- ペットボトル…サイズは問いません。ラベルを外し、中身を洗って乾かしてください。
 - 卵パック、プリンカップ等プラスチック容器…汚れている場合は、洗って乾かしてください。
 - 期間…随時。活動に十分な量が集まった際は図工だより等でお知らせいたします。



7月の各学年の活動

1年生

図工室に入ると、ヨーグルトのようなものが入ったプリンカップが机の上にならんでいました。「なんだろう」と興味津々の1年生。ヨーグルトの正体は液体粘土。そこに直接絵の具のチューブを入れ、指で混ぜていきます。どろっとした質感の液体粘土に「きゃー！」と歓声と悲鳴が入り交じります。「やだな…触りたくないな」とつぶやいていた子ども、活動が始まると「冷たくて気持ちいい！」とにこにこしていました。そんなとろとろえのぐを使って、自分の手を筆にして絵を描きました。

2年生

大きなクラフト紙と新聞紙を使って、ぎゅっとしたくなるお友達、「くしゃくしゃちゃん」をつくりました。まずは、クラフト紙を揉み込んで柔らかくするところから活動は始まります。毎年、この活動を2年生で行いますが、なぜだか子どもたちはこの紙をくしゃくしゃにする活動が大好きです。机に押し付けたり、お腹に抱えて折り込んだり、拳でたたきつけたり、思い思いの方法で汗をかきながらくしゃくしゃちゃんをつくりました。

3年生

夏休み前の最後の図工。お出かけの予定を嬉しそうに話してくれる3年生に、「一足お先に図工室でドライブしよう」と提案し、活動が始まりました。まずはマイカーづくりです。同じ形の木片ですが、バスがあたりりムジンがあたりり実に個性豊かです。次に、短冊状の画用紙を道路に見立て、皆でつなげてドライブコースをつくります。駐車場や自宅など身近なものをつくるグループもあれば、一回転のジェットコースターのような道をつくるグループもあり、大盛り上がりの鑑賞会でした。

4年生

のこぎりの活動に取り組んだ4年生。思い返せば3年生で初めてののこぎりを使ったときは、身体が小さく、脚に体重がかけられず、腕をひく度に椅子ごと回転してしまっていました。1年経ち、大きくなった4年生。軽々と木材を切っていく頼もしい姿に成長を感じました。「みんなのこぎり上手になったね」と言うと、額に汗をにじませながら「えへへ」と笑っていました。切ったあとは釘打ちで木材をつなげます。ぐねぐねと曲線を描く、木材の連なりがかっこいい作品です。

5年生

6月から「あったらいい町どんな町」という題材で、それぞれが想像した世界の門前仲町を描いていました。頭の中に思い描いた世界が、子どもたちの手によって色や形になって表されていきました。今回、描画材や画用紙の大きさは子どもたちに委ねました。これまでに学習した道具の使い方やその特徴を生かして、自分の表現を追求していきました。

6年生

2体のジオラマ人形から、2人の出会いを想像して立体作品をつくりました。「幼なじみとの再会」、「地球と月に住む2人の出会い」、「クリスマスにデートする2人」、子どもたちそれぞれが発想した2人の世界が本当に想像力豊かで、設定が書かれたメモを見るのが楽しみでした。材料や道具も経験を生かして自分たちで選びました。それぞれの特徴を熟知している最高学年だからこその活動です。



7月の授業の様子

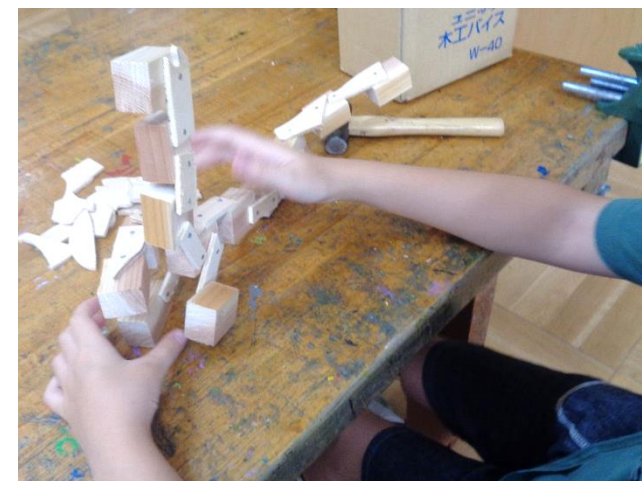
🐣 1年生

自分の指も道具のひとつです。
次は何色をつくろう？



🦒 4年生

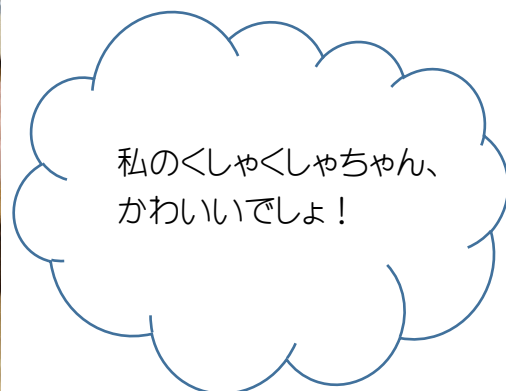
くぎで打って木材をつ
なげます。
脚が生えてきた！



🐓 2年生



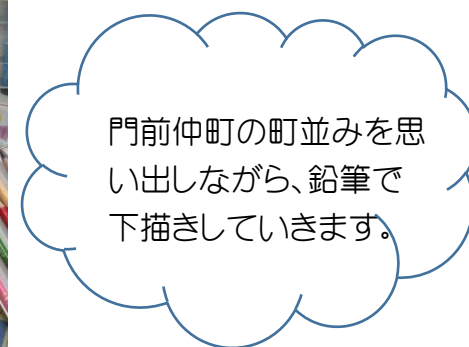
私のくしゃくしゃちゃん、
かわいいでしょ！



🐅 5年生



門前仲町の町並みを思
い出しながら、鉛筆で
下描きしていきます。



🐕 3年生

ぐねぐねと曲がり
くねったコースが
楽しい！



🦁 6年生

ベニヤ板をたてて背景
をつくりました。
青い海と空がきれい！

